

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF横浜南		
○保護者評価実施期間	25年 2月17日		25年 3月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	25年 2月 8日		25年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	25年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通して、集団生活のマナーや、他者と協力していく事の大切さや楽しさ、喜び、難しさを学ぶことが出来る点が強みだと思う。	毎月プログラムのテーマに沿って活動し、それを通し日常生活でプラスに作用するよう意識している。 行きの車内でその日の目標を決め、帰りの車内でその日の振り返りを実施することで、出来たこと・上手くいかなかった	リーフラスというスポーツスクールをメインにしている母体がある為、サッカースクールとの交流戦だけに留まらず、ダンス・バスケ・野球といった競技を体験する機会を作っていく。
2	イベントの充実化。 運動だけに留まらず様々なイベントを実施し、ご利用者様に好評いただいている。	礼儀・挨拶を大切に考えている為、プログラム開始時・終了時の挨拶を丁寧に出来るよう指導している。	挨拶を指名して実施することで、他者が自分の挨拶を聞く姿勢や態度を客観的に見せていく。その結果自分の取るべき態度を学んで行けるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか？の質問にどちらともいえない、わからないが5%ずつなのでこの質問を100%にする必要があると感じた。	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか？ ↑この質問が82.5%なので、サービス提供(HUG)が定期的な通信や連絡体制、情報や業務として当てはまるように周知していく必要があると思う。	アプリの推奨をしていく。 児童がリーフでの出来事をもっと保護者に話すよう伝える。
2	緊急時に備えた避難訓練が事業所で行われているのか、事業所の取り組みが半数の保護者へ伝わっていない。 (保護者アンケート:わからない55%)	避難訓練の実施の際に、活動記録やサービス提供記録にて取り組みを公表、帰宅送迎時に口頭で取り組みを説明しているものの、理解や伝わっている保護者が約半数である事から、曖昧な説明や公表になってしまっている事が考えられる。	実施のタイミングで引き続き、活動記録やサービス提供記録にて文字による記録を残すと共に、口頭による説明(実施時の子供の様子等)を丁寧に言う。重ねて、活動記録やサービス提供記録の確認を促す事で今後、こちらからの発信を小まめに確認していただく流れを作り出していく。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流の機会が設けられるなどが少ない。 (保護者アンケート:いいえ25%/わからない37.5%)	「父母の会」という直接的な交流の機会を提供していない為、保護者からは設けられていないという認識を持たれているのではないかと考える。	保護者参加型の祝日プログラム実施時には、保護者間の交流や兄弟等の交流が見られるので、引き続き提供を続けていく。父母の会の要望等が声として上がる場合には要検討。